

釧路南ロータリークラブ会報

第23回 例会報告 2011.12.16 通算1423回

・点 鐘 長倉会長

・ロ - タリ - ソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 清水 哲会員

・会 長 挨拶



皆さん、こんにちは。

まずは、報告からですが、一昨日、釧路クラブの邵氏より連絡がありまして、韓国新晋州 RC のイ会長より、カンボジアの学校が来月完成余予定という事です。着工する時期を聞いておりませんでしたので、あれもう出来るのという驚きですが、規模は若干縮小となりましたが、無事、前へ進んだという事が喜ぶべきことで、30周年の記念事業の一つとしての位置づけとしても、計画がストップしなくて良かったと感じております。

竣工式の案内が追ってくるようですし、お約束の資金の送金も準備しなくてなりません。

話は変わりますが、次週は、クリスマス例会です。会員増強のために、メールでもご案内させていただいておりますが、入会予定者をゲストでお呼びいただきたくお願いいたします。こういう、機会を大いにご活用いただきますようお願いいたします。

話は変わりますが、厚生労働省が13年度に希望者には、65歳までの雇用を義務化する方針を打ち出しました。かなり、賛否があるようです。年金の資金の運用や無駄遣いで危なくなった状況を支給を延ばし、雇用を義務化することで乗り越えようと考えているようです。やり方は、自分のミスや瑕疵を企業や庶民にしわ寄せさせるやり方ですので、納得感はまったくありませんが、私は賛成です。もう、それしか方法が見つからないと思います。解決しなければ日本の将来に関わるもっと大きな問題となります。企業も大変ですし、新卒者が就職活動している方々には大きな逆風ですが、この問題を解決する方法が他にあるようには思えません。しかしながら、ネット上のクリックリサーチでは、63%反対。33%賛成となっております。年齢層によりかなりばらつきがあるようです。

・幹 事 報 告



- * 弟子屈RCより12月プログラムを拝受おります。
- * 厚岸・弟子屈RCより会報を拝受しております。

- * 公益財団法人ロータリー日本財団より、寄付金に関する税制上の優遇措置について、詳しくは幹事へ。
- * 本日例会終了後、定例の理事会を開催いたしますので、理事の方は、宜しくお願い致します。
- * 第 13 回ロータリー国際囲碁大会 3/3～3/4。神戸市ポートピアホテル。

・委員会報告

出席委員会 工藤ゆかり会員

会員 22 名 11 名出席 出席率 50%



・本日のプログラム

「 上期の反省・下期の検討 」

担当 会長・幹事

◆長倉会長



表敬訪問、ガバナー公式訪問に始まりまして、地区大会参加とあつという間に今年度も来週のクリスマス例会を最後に上期が終了することとなります。まずは、佐藤玄史幹事をはじめ、3 大カテゴリーの

委員長、各小委員会の委員長には、会の運営にご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。

今年度の会長方針は「地域を知り、感じ、楽しもう」という事で、今までにないプログラムとして上期には、「キャンプ例会」「ゲスト講和」として、道東で活躍する写真家の横山氏に道東のすばらしい風景を拝見させていただき堪能することができました。また、夜間例会を倍増させて出席率を上げる事も実行しました。出席率は、やはりやはり夜間例会の方がいい結果がでているようです。また、それに伴い、会場が変わり混乱しないようにと、安藤運営委員長より、例会の案内をメールにて配信をいただいております。また、今年度は、韓国新晋州 RC のカンボジアへの学校建設に協力協賛する事となっており当初は、なかなかうまく進んでなく心配もしておりましたが、ご案内の通りの運びとなりこれもひと段落したところです。慶祝についても、会員の結婚記念日には花をご自宅に届けるという事も新たに始めております。評価が私に届いておりませんので、奥様の反応が聞いておりませんが喜んでいただいていると思っております。こう考えてみますと新たな試みも以外にやっているなど、私自身感じておりますが、反省しなければならない部分も多々あります。ひとつには、色々な部分で佐藤幹事に任せっきりで、ご負担をかけております。運営委員会の会報につきましては、うまくいっておりませんので早急に対応し修正いたします。重要な目標の会員増強も進んでおきませず、下期に向かい検討、行動しなければと考えております。こちら会員皆様のご協力をお願いいたします。下期には、30 周年記念式典もあります。菅井会員、原田会員も戻ってきます。会長方針の「地域を知り、感じ、楽しもう」の新たなプログラムを交えながら、上期の反省を踏まえ、30 周年に向け、もっと信頼される会長も目指し、流されることなく残りの半年をたった一度の会長の経験を悔いのないように務めていく所存です。佐藤幹事をはじめ、残り半年、尚一層の会員の皆様のご協力をいただきますようお願いをいたしまして、上期の反省と下期へのお願いとさせていただきます。

◆佐藤玄史幹事



先ずは、今年度上期が終わろうとしています。年次総会も終え来期の準備も着々と進んでおります。区切りの上期の反省、下期の検討で私なりの反省、検討をして下期へ進んでいかなければ、と思います。上期の全体をみますと、何とか無難にと思いますが、問題点も随分残したなと感じます。

1. 例会、出席率の低さ、依然改善されていない、出席のよい会員、欠席多い会員、仕事柄難しいこともあると思います。無駄を省く為今後は連絡をいただければ、少し特徴なのは、例会上期 24 回の内、12 回はホームグラウンド、残り半分は移動、もしくは夜間例会に、夜間例会のほうが、出席率が良いという結果でした
2. 会員数は、スタート 22 名、いままで南クラブ最小の組織で、増強委員長を中心に、事あるごとにクラブ存続の危機ととらえて検討を重ねてきましたが結果が出ていません。
3. プログラムの進捗は、中身を少し確認してみたいとおもいます。表敬訪問例会、ガバナー公表訪問例会、はそれなりに時間的に大変でした。地区大会は、(9 名の参加)夏祭り、清掃例会(雨天中止)、夜間例会の会員増強(お客様招待)横山氏の写真は特に印象に残った。キャンプ例会は、時期的に 準備が足りなかったかな。スポーツ例会(ボーリング)、観風会例会(川湯)、家族例会は、奥様、が少なかったとおもいます。献血協力例会は 8 人の献血で、大変良かったと思います。

4. 会報委員会については、会の運営として大変重要な位置にありますけど毎年指摘されますけど下期に向け全体で解決を図っていかなければなりません。
5. 環境新世代委員会、ライラーセミナーこれについても、全くクラブとして協力できていない。これも今後の課題としました。
6. 下期のプログラムは、大きな行事予定として、新年交礼会、IM の参加新入会員歓迎会、地区協議会(北見)、なんと言っても、創立 30 周年記念式典、と下期も気が抜けない行事が目白押し、なんと言っても、新入会員歓迎会の開催する。今年当クラブ、最大の「30 周年記念」6 月 23 日を成功させる。
7. いま少しの反省、検討をお話しましたがけれど、会員、各委員長より是非、これからのために、ご意見、ご指摘いただければと思います。



◆ 次回のプログラム

12月22日(木)

「年末クリスマス家族同伴例会」夜間例会
会場 café テラスぬさまい橋

担当：親睦活動委員会

◆ 点 鐘 長倉会長

今週の会報担当：佐藤了会員